



「ユニバーサル都市・福岡」を理

① 背景

福岡市では第8次福岡市基本計画(2003年策定)で、健康・福祉のまちづくりを進めるため、建築物や道路、鉄道駅などの身近な生活基盤のバリアフリー化を推進するとともに、それらの施設や設備の使い勝手や都市サイン、市の広報物のわかりやすさなどについて、ユニバーサルデザインの観点から点検、改善を図ってきました。

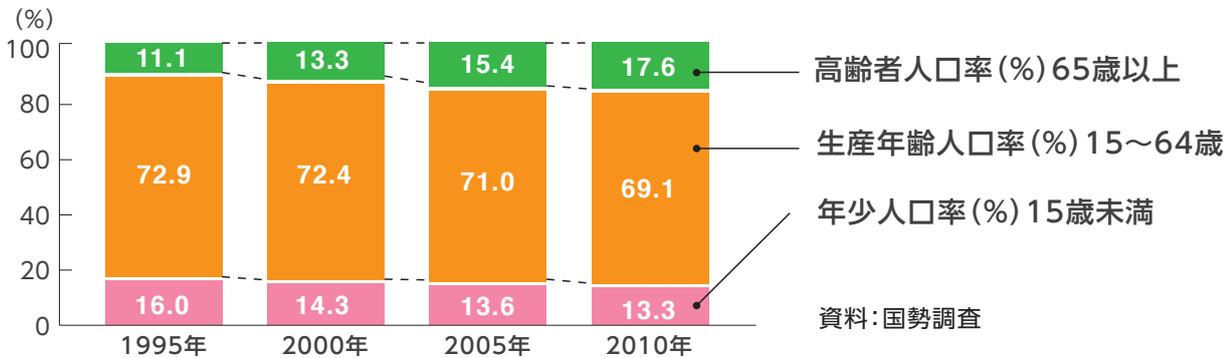
しかし、社会そして福岡市を巡る状況は今も変化し続けています。

全国的な少子高齢化の中、高齢者が安心して暮らせることに加え、比較的若者の割合が多い福岡市では、1世帯あたりの子どもの数は減少しつつも、子どもを持つ世帯数自体は増加していることから、子どもを安心して生み育てられる環境づくりも大きな課題です。

さらには、外国人、女性、障がい者など、誰もが生き生きと働くことができる、過ごしやすい環境づくりが求められています。

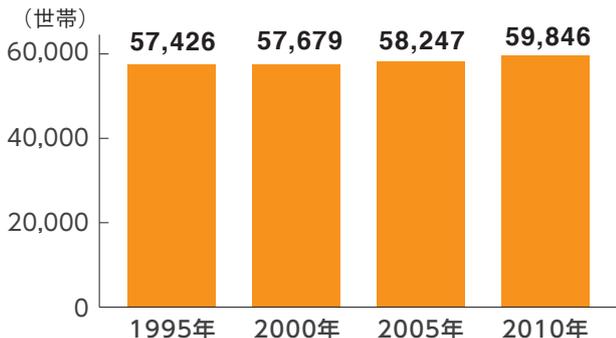
少子高齢化が進んでいます。

福岡市の人口構造の変化



少子化が進む一方で、子どもを持つ世帯そのものは増えています。

福岡市の6歳未満の子どもを持つ世帯数推移

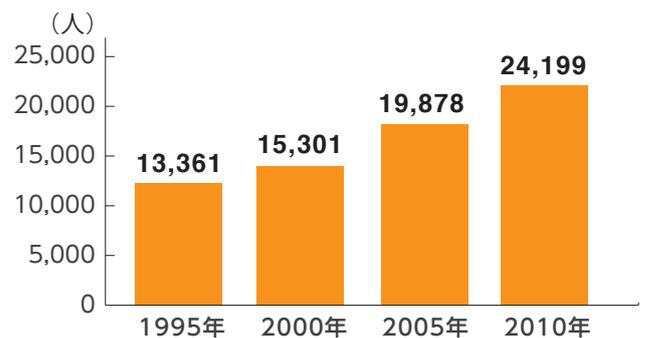


資料:国勢調査

(注) 1995~2005年は親族、2010年は親族以外も含む対象世帯員のいる世帯数

外国人登録数は、1995年の2倍近くになっています。

福岡市の外国人登録数推移



資料: 1995~2005年は大都市比較統計年表、2010年は法務省入国管理局調べ

解しよう。

② みんながやさしい、みんなにやさしいまち、「ユニバーサル都市・福岡」とは

前述のような社会環境の変化に伴い、これからの福岡市は、社会の多様なニーズに応え、もっとみんなにやさしい、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりをめざしたいと考えています。そうした考えのもとに生まれたのが、「ユニバーサル都市・福岡」というコンセプトです。

「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を市政運営における重要な視点とし、“環境づくり”だけにとどまらない、「みんながやさしい、みんなにやさしい」まちづくりを進めていきます。

その上でもっとも大切な鍵となるものは、このまちに関わる「一人ひとりの心」です。年齢、性別、能力、背景などに関わらず、相手の立場を尊重する。そんな心を持った人が集い、暮らし、交流し行動に移していくことで、まちは少しずつ、しかし着実に変化していけるのです。

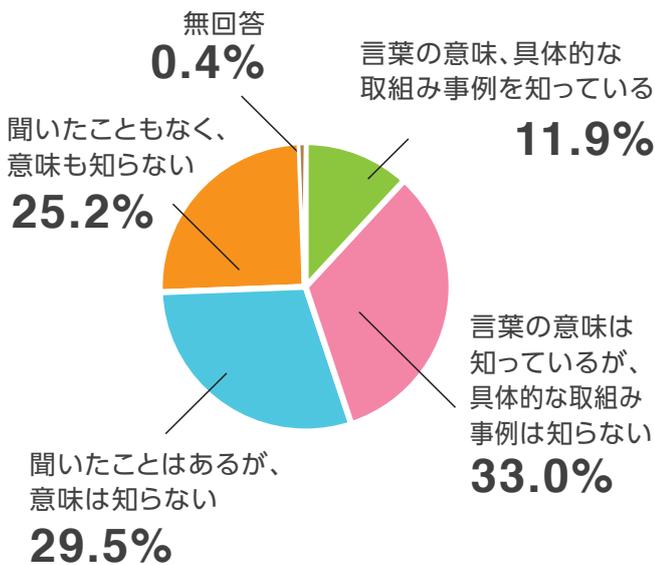
「ユニバーサル都市・福岡」をめざすことは、新しい価値観の創造へのチャレンジです。そして、それは暮らしの質の向上につながります。

福岡市では、これから市職員、さらには企業、大学、市民へとその輪を広げ、「ユニバーサル都市・福岡」の実現をめざしていきます。

「ユニバーサルデザイン」の取組み浸透度について

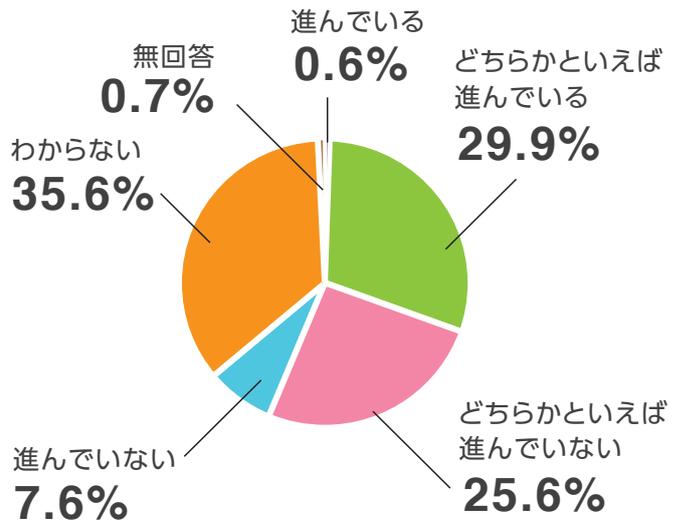
(「平成23年度市政アンケート調査」から)

「ユニバーサルデザイン」について知っていますか？



聞いたこともない人、聞いたことはあるが意味は知らない人がまだ半数以上います。

福岡市の取組みは進んでいると思いますか？



「進んでいる」「どちらかといえば進んでいる」と答えた人は3割で、福岡市の取組みは、まだ多くの人に実感されていません。



「ユニバーサル都市・福岡」の輪を広げよう。

この職員行動指針は、庁内のすべての部署、すべての業務に「ユニバーサル都市・福岡」の考え方を反映させるための包括的な指針で、それぞれの部署が所管する各種の事業計画・構想などとの上下関係はありません。

市基本計画や実施計画、各局の計画・構想など、福岡市のあらゆる施策がこの指針に沿って実現され、市民・産・学との連携の輪が福岡市全体に大きく広がっていくことで、「ユニバーサル都市・福岡」は、現実のものとなっていきます。

また、この指針で示された考え方は、担当業務だけでなく、市民の応対など行政サービス全体を「みんながやさしい、みんなにやさしい」ものにしていく上でも重要なものです。

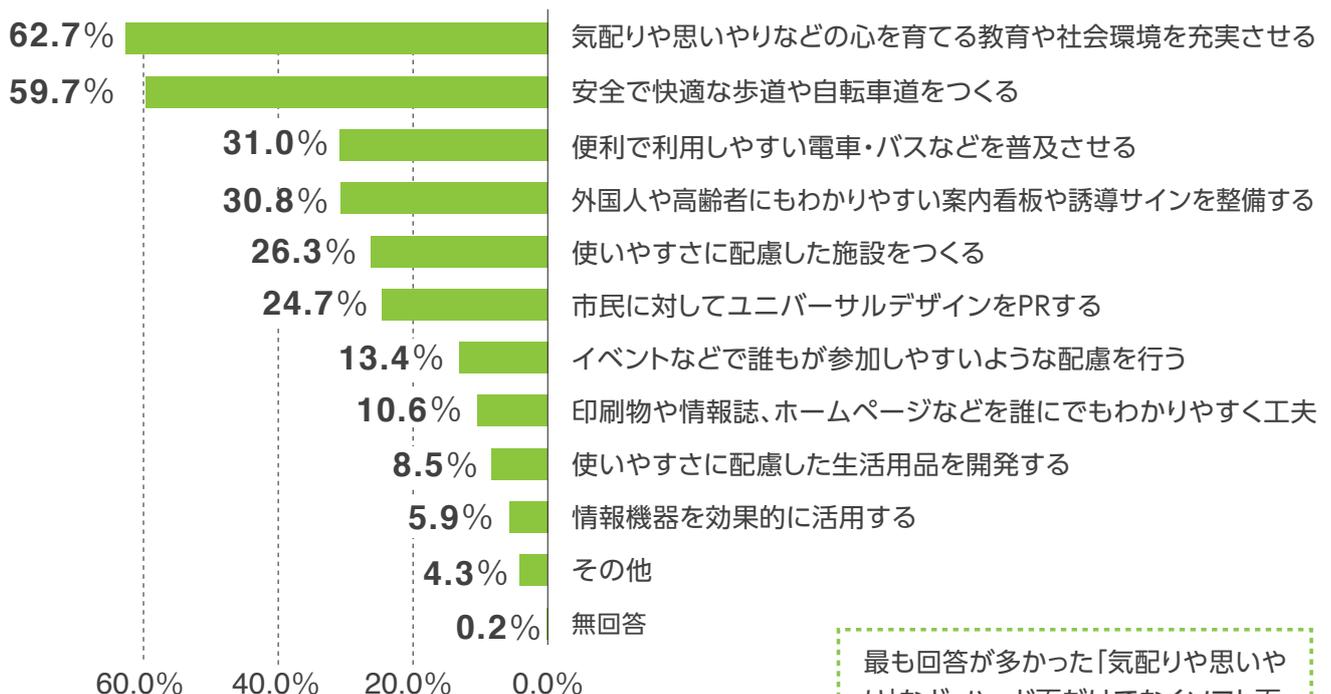
世界に誇れる素晴らしいまちを目指して、まずは私たち福岡市職員が団結し、一步一步踏み出して行きましょう。

さらに、企業、大学、市民へと、その輪を広げていきましょう。

「ユニバーサルデザイン」の取組み浸透度について

(「平成23年度市政アンケート調査」から)

「ユニバーサルデザイン」を進める上で必要なことは？



最も回答が多かった「気配りや思いやり」など、ハード面だけでなくソフト面の重要さも浮き彫りになっています。

3 「ユニバーサル都市・福岡」 実現をめざして行動しよう。

行動のための合言葉

～この5つの合言葉を胸に刻み、行動していきましょう!～

1

みんなにやさしいまちをいつも意識し、行動して、「みんながやさしいまち」をつくりましょう。

2

おもてなしの心を持ち、わかりやすく情報を発信して、「みんなが住みたくなる、訪れたくなるまち」をつくりましょう。

3

みんなの過ごしやすさに配慮して、「みんなが安心・安全で快適なまち」をつくりましょう。

4

みんなの個性を受け入れて、「みんなが自分らしく生きられるまち」をつくりましょう。

5

職員みんなで力を合わせて、「みんなの笑顔があふれるまち」をつくりましょう。